



# 関工

第73号

## PTA会報

発行 岩手県立一関工業高等学校  
P T A 広 報 委 員 会  
TEL 0191-24-2331  
FAX 0191-24-4540  
ホームページアドレス  
<http://www2.iwate-ed.jp/ict-h/>  
印刷所 川嶋印刷株式会社



### CONTENTS

- ② あいさつ
- ③ 平成22年度PTA定期総会
- ④ 特集  
「関工に入学して  
～生徒と保護者の目から～」
- ⑧ 開校記念講演会  
勝部市長が本校生徒にエール
- ⑩ 平成22年度職員紹介
- ⑫ 平成22年度PTA役員  
平成22年度事業計画  
編集後記





## 『新たな歴史創造へ』

会員の皆様方には、日頃から本校PTA活動に深いご理解をいただき、またその推進にご尽力いただいておりますことに心から感謝を申し上げます。

さて、四月二十九日の総会におきまして新たな役員が選出され、私が昨年度に引き続き会長の任を仰せつかることになりました。副会長さん方始め役員の方々に協力し合いPTA活動を推進して参りたいと考えております。

今年度の事業計画は、総会でご承認いただいたとおりですが、特に九月五日(日)に開催予定のPTA交流会(研修旅行)は、普段中々会えない会員の皆様方と膝を交えてお話しができる唯一の機会でもあります。昨年度は秋の山形路にバス二台で練り出し青天の中「ぶどう狩り」等、とても楽しい一日を過ごすことができました。是非とも奮ってご参加をお願いします。研修委員会の皆様には日程及び企画等でご苦労をお掛けしますがよろしく願います。

さて今年度は、サッカーのワールドカップ(W杯)南アフリカ大会で盛り上がりましたが六月十三日に工学系の大きなニュースが入ってきました。小惑星探査機「はやぶさ」が約六十億キロの旅を終えて七年ぶりに地球に帰還したとのことです。月以外の天体に着陸した探査機の帰還は、世界で初めてであり、さらには小惑星「イトカワ」の砂が入っている可能性のある回収カプセルをも地球に持ち帰ったことでもあります。はやぶさが旅立った二〇〇三年は、鉄腕アトムが誕生した年とされており当初はアトムを愛称とする案が有力だったといえます。はやぶさは、自分の力で判断して行動する重さ〇・五トンのちっぽけなロボットであり地上の探査チームの知恵と工夫に支えられて、前人未踏の仕事成就了げ世界から称賛を浴びました。チームリーダーである宇宙航空研究開発機構の川口教授は「世界でまだ誰もやっていないことに挑戦したかった」といい高い目標を掲げ、あえて挑戦することの大切さを教えてくれました。

これから生徒諸君が自分自身のそれぞれの高い目標をもち日々研鑽し、夢を叶えてほしいものと考えます。

最後になりますが今年度は、当校にとつては、半世紀の新たな一歩を刻む創立五十一年目の記念すべき年でもあります。会員の皆様方の力をお貸しいただき一関工業の新たな歴史の創造に向けてPTAも一緒に歩んでいきたいと思っております。

今年度のPTA活動に対して心からご協力をお願いして、私からの挨拶とさせていただきます。



## 『社会人基礎力』

校長 安彦敏郎

今、多くの企業では、実行力や積極性、コミュニケーション能力など「職場の中で多様な人々とともに仕事を行うための能力」が重要視されています。しかし、逆に若者たちのそうした能力は低下しつつあるとの指摘があります。このため、経済産業省は、こうした能力を「社会人基礎力」と名付け、若者たちの「社会人基礎力」を伸ばすためのカリキュラム作りを始めました。

この「社会人基礎力」は、次の三つの主要な能力と、そこからより具体的に細分化した十二の能力要素からなります。

- 一、前に踏み出す力(主体性、働きかけ力、実行力)
- 二、考え抜く力(課題発見力、計画力、創造力)
- 三、チームで働く力(発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロール)

また、「社会人基礎力」の位置づけは次のように考えることができます。社会で活動するための「人間力」の育成には、まず「正直、誠実、謙虚といった徳目」「卑怯を憎む心、思いやりや倫理観」「礼儀、マナーなどの社会規範意識」そして、「基本的な生活習慣」といった土台がしっかり形成される必要があります。次に、この上に、「基礎学力」と「専門的知識・技能」が積み上げられます。そして、この「基礎学力」と「専門的知識・技能」をうまく活用していくために「社会人基礎力」があるわけです。土台となる「人間性」や「基本的な生活習慣」を車体に例えるなら、「基礎学力」と「専門知識・技能」は車の両輪として、「社会人基礎力」はエンジンと考えられます。

従来、「社会人基礎力」は、大人になるまでに自然に身に付くものと考えられてきました。しかし、現代の日本社会においては、意図的に働きかけない限り、育ち難くなっているようです。「社会人基礎力」を向上させるには、幼児期から小・高・大学、そして就職後まで、子供達の発達段階に応じた適切な教育が必要です。特に、幼児期から高校卒業段階までの親子の対話や地域の方々との触れ合いが、そのベースになると考えられています。

さて、去る五月十二日、一関市長勝部修様を本校にお招きし、ご講演をいただきました。その演題は「社会人基礎力」でした。この「社会人基礎力」作成に関わった市長様は、初期から現在までの携帯電話を数多く持参され、その開発を例に「チームで働く力」を取り上げられ、特にも「傾聴力」と「状況把握力」に焦点を当ててお話しされました。「コミュニケーション能力」というと、発信力つまり「話す」ことが注目されがちですが、口は一つ、足、手、目、耳は二つずつ。つまり、動いて、触れて、見て、聞くことから始まる」ということが印象的でした。講演後、ご自身の行動基準でもある「すぐやる、かならずやる、できるまでやる」を色紙に書いていただき、本校では、これをカラーコピーし、額に入れ、全クラスに掲示しました。

本校では「挨拶は人生のパスポート」の標語のもと、元気のよい挨拶が交わされています。挨拶は「社会人基礎力」育成の第一歩です。PTA会員の皆様方には、ご家庭におかれましては、「挨拶」の励行についてご指導いただきますとともに、お子様の学校生活、仕事の厳しさを楽しさなどについて、親子の話題としていただきますようお願いいたします。

# 平成22年度 PTA定期総会



4月29日(木)の昭和の日に、PTA定期総会、体育・文化後援会総会が開催されました。授業参観の後、家庭科実習室で総会が持たれましたが、今年は軽食としてサンドイッチとジュースを準備しました。

千葉PTA会長より、創立五十周年を終え、新たなスタートとして51年目を迎えていきたい。PTA活動においてはPTA研修旅行をはじめとして楽しいPTA活動を実施していきたいという話がありました。

安彦校長からは、①開校記念事業として、市長講演会の実施 ②教育目標として、生徒が将来にわたって幸せになれる教育、生徒・保護者が入学して良かったと思われる学校づくり ③生徒と先生でつくるレベルの高い授業の実践についての話がありました。



## 『PTA副会長って』

一関工業PTA会員の皆様、三年間お世話になりました。また、県高P連の表彰も頂きありがとうございました。思い起こせば学年PTAの理事を引き受ける際、時間の都合がつく時参加すればいいと言われ、楽な気持ちになったことを覚えています。軽い気持ちでPTA活動に参加するようにはしましたが、五十周年記念事業では家庭事情と重なりあまり会合に参加できなく申し訳なく思っています。盛大に記念行事を終えて一関工業のOBやPTAのパワーを感じました。

PTA活動は言ってみれば人と人の繋がりを感じる活動です。特に役員になるとその幅が広がってきます。所謂役得というやつで高P連全国大会や地方大会に参加でき、その地方の名物がありつけます(勿論自費ですが)。休暇を取らなければならぬことがありますが、旅行と違って参加できます。

最後に、一関工業PTA活動が益々活発になることをご祈念申し上げ、ご挨拶とします。

## 『通学路指導を終えて』

去る五月十七日から二十一日迄の五日間、健全育成委員会では交通マナー指導を行いました。生徒指導の先生や交通安全委員会の生徒、委員会の保護者で一関大橋交差点付近と国道の学校入口二箇所から最も危険な所だと伺い、見ておりました。自転車通学が大半を占める生徒、歩行者用の信号に従いながらも右左折する車には十分注意を払う必要があると感じました。横断歩道上は守られるべきエリアではありませんが、事故に遭遇した場合、被害者になる側です。十分気をつけてほしいものです。また、歩道や道路での自転車の並進は、対向する者にとっていかに迷惑で危険であるか、これから自動車の免許を取り運転して初めて知ることになるでしょう。それまで何事も無ければと願うばかりです。

また、目の前を通る工業生には先生と共に「おはよう」と声をかけました。挨拶を返してくれる生徒もいれば、そうでない生徒も居りました。他校の生徒でも、私達に挨拶して行く生徒が何名かおり、「普通の事が立派に見える」不思議な印象を持ちました。中にはズボンからワイシャツを出していたり、自転車ハンドルの変えていて先生に注意されるといった場面もありました。これらは家庭でも気をつけ、子に干渉する事で解決しなければならぬ事と思います。「家の親は何も言わないから」等と子に思われないように、注意すべき所はしっかり言いましょう。

最後に、五日間対応して下さいました先生方、生徒、保護者の皆さん、本当にご苦労様でした。書面にてお礼を申し上げます。



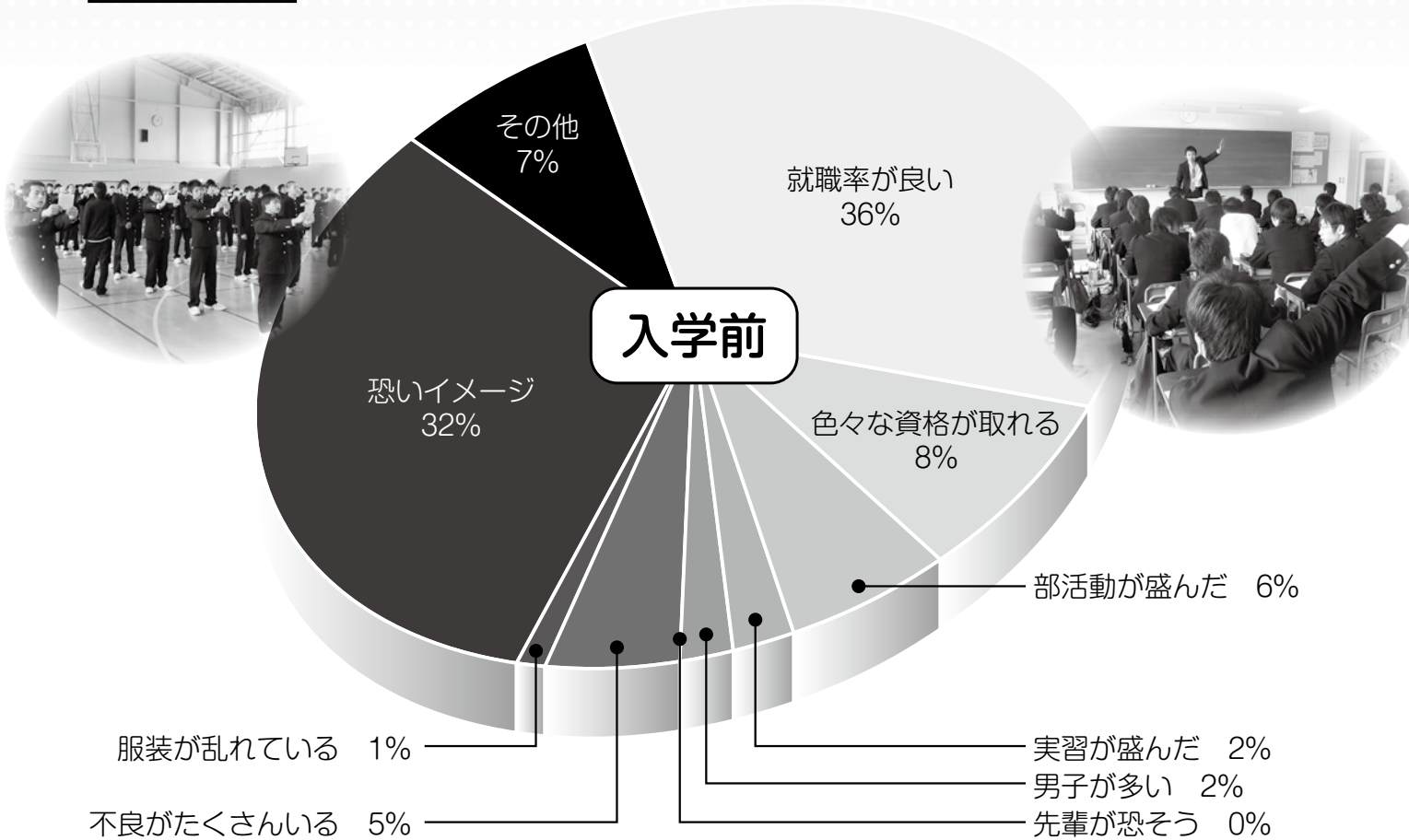
通学路指導の風景

# 関工に入学して —生徒と保護者の目から—

# 特集

## 生徒

### 入学前のイメージ



☆…入学前の関工のイメージ ★…実際に入学して感じたこと

M科 K・Mさん

☆とても厳しい学校だと思った。明るい人たちがたくさんいる良い学校だと思う。部活動などで一生懸命がんばっている学校と聞いた。

★教科が多いため、学習がとても大変。資格を取得するのが大変。とても明るい学校で楽しい。運動部はともきつい。

M科 R・Cさん

☆対面式がものすごく怖い学校だと思いました。他の学校よりも就職率が高いと思いました。いろいろな教科があるなあと感じました。

★対面式は入場する時が一番恐くて、後も恐かったけど一番は入場する時でした。先輩も優しく、とても楽しい学校だと思いました。

M科 S・Yさん

☆チャラい人ばかりだと思った。就職率が良い。

★全然チャラくなかった。先輩が面白い。

C科 S・Nさん

☆少し怖い学校だと思った。勉強の進む速さがすごく速いと思った。弁当を食べる時間が少ないと思った。

★先輩たちは思っていたよりは優しい人達だった。勉強は先生によって速さが違った。弁当は普通に食べることができた。

C科 Y・Rさん

☆怖い学校だと思った。すごく怖い学校だと思った。部活がとても盛んだと思った。勉強がとてもむずかしいと思った。

★授業がむずかしい。

C科 M・Sさん

☆就職に有利な学校。男子が多くて、不良生徒がたくさんいると思った。野球部が強い。あまり頭の良い学校とは思わない。

★実習がとても楽しい。思ったよりも先輩がこわくなく、フレンドリーではないかと思う。部活動が盛ん。

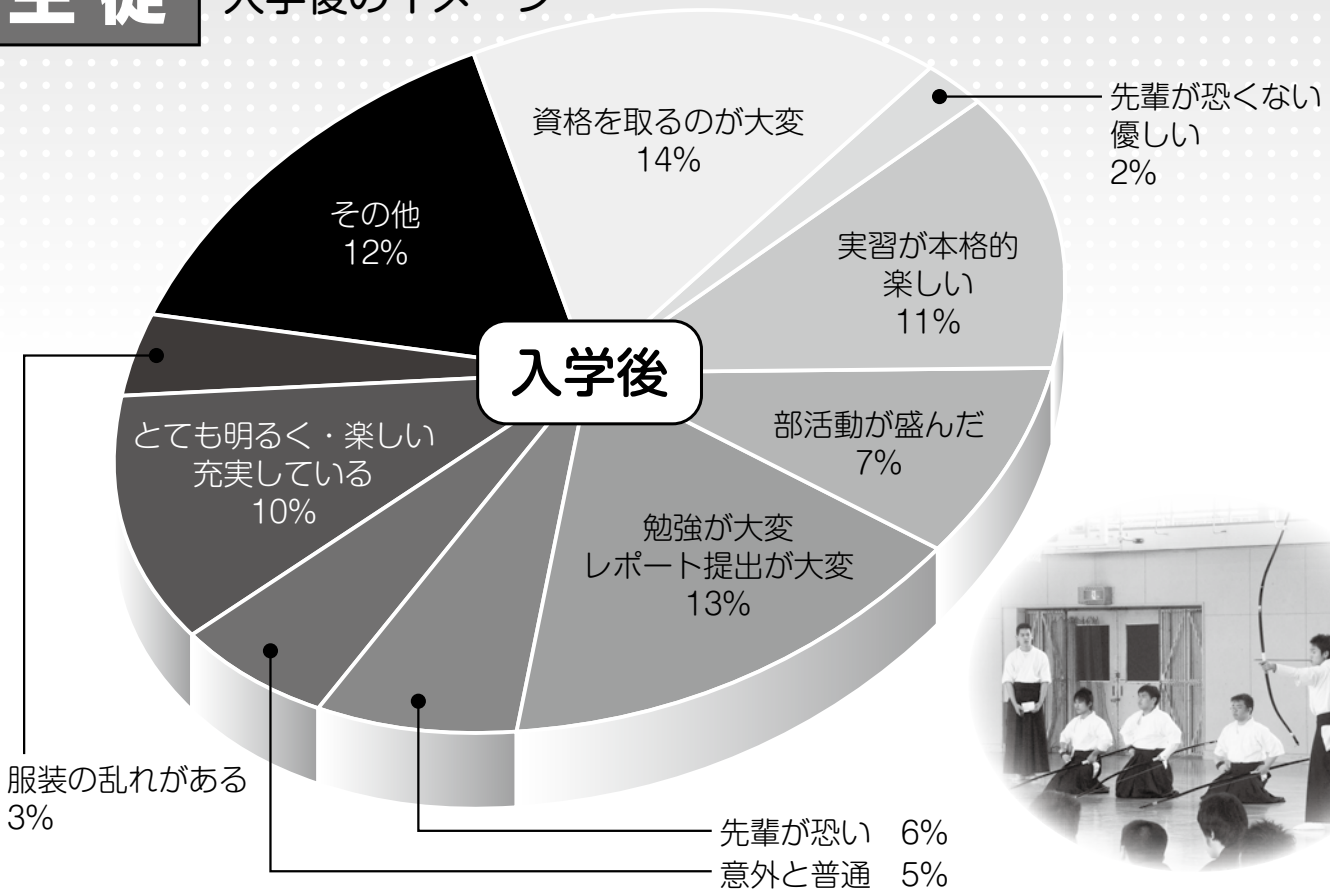
C科 C・Kさん

☆先輩が恐くて部活動がとても盛んでいて校則がゆるいような学校だと思っていた。就職率が高い。

★勉強が大変であるが、学校は明るくなじみやすいと思った。校則はけっこう厳しくていいことだと思った。

## 生徒

### 入学後のイメージ



**C科 S・Tさん**  
 ☆就職率が良いと思っていました。スポーツが盛んだと思っていました。恐い学校だと思っていました。服装が悪い。授業中うるさい。スポーツが盛んだ。校内がきれいだった。自転車で来る人の乗り方が悪かった。

**D科 M・Sさん**  
 ☆不良がいて、部活をサボったり、服装が悪かったり、暴力の多い学校だと思った。  
 ★工業基礎の実習がおもしろい。先輩は意外とやさしい。売店のパンが安くてうまい。

**D科 C・Aさん**  
 ☆応援練習や先輩達のイメージから、少し悪いイメージだった。実習が多く盛んだと思った。  
 ★毎週ある実習がとても充実している。思っていたほど、先輩が恐くなかった。レポート提出や課題などの提出物が多い。

**D科 C・Yさん**  
 ☆けつこう治安が悪い場所だと思った。上下関係が厳しいと思った。就職率が良いと思った。  
 ★図書室に面白そうな本がたくさんある。授業の準備で何かと忙しい。

**D科 S・Hさん**  
 ☆資格取得や就職率が他校に比べると、とても良い学校だと思いました。  
 ★工業基礎の実習がとても将来のためになることをしていて良いと思う。

**A科 A・Mさん**  
 ☆周りからはよく就職に有利と聞かされた。体験入学の時は、先輩たちはとても熱心で優しい人たちなんだと思った。  
 ★実習がすごく本格的だし、楽しい。先生達がとても個性豊か。学校が予想以上に広い気がした。

**A科 K・Tさん**  
 ☆恐い人達が多い学校だと思った。校名に工業と入っているので物造りが盛んに行われている学校だと思った。  
 ★実習がたくさんあって大変で、レポートのまとめが大変。休み時間が短かく授業の準備が大変だなぁと思う。

**A科 Iさん**  
 ☆女子が少なく、先輩が恐い。男子の服装がだらしない。あまり良いイメージはありませんでした。  
 ★女子がそこまで少なくない。先輩は怖いけどそれは私達のために。悩みとかを相談できそうな先生、相談してもまったく相手になってくれないような先生、きつぱり分かれますね。

**A科 S・Aさん**  
 ☆兄弟がいたので多少話を聞く機会があり、おもしろい学校だと聞いていました。先生方と生徒の交流が盛んな学校だと思っていました。  
 ★工業はほぼ男子校なので、授業がおもしろいんだらうと思っていましたが、A科は半分女子なのでいたって普通のクラスで、普通の生活です。



# 関工に入学して —生徒と保護者の目から—

# 特集

## 保護者

○：入学前の関工のイメージ ●：入学後の生活から感じること

### A科 S・Aさん

○就職を希望していたので資格等を取って関工を選びました。入学前は正直言ってイメージは悪かったのですがあえてここにしました。

●資格試験に積極的に取り組んでいたり、部活もきちんと指導頂いたり、友人関係も良く、以前より積極的な子になりました。この学校を選んで良かったです。又、驚いたのは「ものづくりコンテスト」や部活の県大会等、地元ではなく開催された地の北上や盛岡まで、わざわざ卒業生が応援に来てくれるという、卒業生が関工を誇りに思っていることが素晴らしいと思った。

### □科 E・Kさん

○入学前は不良が多いと噂があったので、入学させるのに不安がありました。入学後は先生方が生徒を大事に育てて下さり、安心しておまかせします。

●学校の授業など、子供が真剣に受けている様子なので、このままどんどん頑張ってもらいたいです。

### M科 K・Oさん

○私も同校OBなので、入学前の不安とかは幾分無かったのですが、男子が多い中で良い意味でうまくもまれてくれたらと思います。

●校舎が新しい事などから昔の暗いイメージと違って清潔感があり、子供達も一人ひとり挨拶がしっかりしていて明るい学校だと思います。

### M科 K・Cさん

○近隣、知人の子供達で関工を卒業し、大手企業へ就職が決まったのを見ているし、本人も機械、自動車に興味があったので、関工は良いと思っています。

●以前、知人が関工のPTA会長をしていた時に、良い話を聞いていたが、実際に行ってみて、まさにその通りだと思った。

### C科 H・Aさん

○公立に入るなら工業と親子で決めていました。将来の進路に役立つイメージを持っています。3年間、無事に通学してほしいです。

●中学校と違い帰宅時間が遅くなって、親子で会話する事が少なくなり、よくわからないのですが、毎日元気に通学しているので楽しんでるんだなと思います。

### A科 H・Kさん

○卒業後は就職希望という事で、親子で話し合い工業を選びました。色々な資格を取ってほしいと頑張っていました。

●クラスは最高、実習は興味津々、計算は苦手などと話しています。3年間、友達と共に元気に通ってほしいと思います。

### A科 M・Oさん

○理数系が得意だった事と将来の進路をはっきり見極める為、関工を選んだ。多くの資格取得のチャンスがある事も大きな要因。

●入学してまだ2ヶ月しか経過してないが、中学時とは明らかに違い「自主性」がはつきりとわかる。今後に期待している。

### A科 K・Oさん

○県外出身の為、予備知識はなく、どこが良くどこが悪いのか判断が無い。姉が水沢農を出たが、教育水準は高いと感じた。同じく期待します。

●毎朝送っています。同じ時間に同じ顔が見れます。笑顔の子が多いと見受けられます。部活を中心に頑張っている姿が見られます。

### D科 T・Iさん

○親子で迷い決めた関工入学。正直、期待より不安が大きかったです。しかし高校生活で何か一つでも目標に向かって頑張ってほしいという思いを持ち、入学式を迎えました。

●まず思った事は、関工で良かった。親として安心。部活動を毎日頑張っている事と、「俺、工業の勉強おもしろい！」と笑顔で話してくれた事です。関工に入学し新たな道が見つかったようです。

### A科 T・Kさん

○専門的な授業内容で、中学とは違い大変ですが、就職面では高校在学中に資格取得ができ、有利に就職活動が出来るのではないかと思います。

●授業は、思った通り難しいようですが、実習は楽しく興味があるようです。

### A科 K・Sさん

○男子ばかりで近寄りやすいイメージがありました。専門的な技術を身につけたいと思い、厳しいだろうと思いつつも入学希望しました。

●義務教育が終り、自己責任という言葉を重ねて感じています。実習や専門的な学習があり、まだ慣れずにはいますが、先輩方がやさしく色々教えて下さる様です。

### A科 T・Tさん

○女子が少ない中でやっていけるかな？でも普通校には魅力がないとの事でやっぱり工業にすると決めました。

●女子会なるものがあったり、何かあった時は学校全体で女子をサポート。男子多数だが気にせず学んでいる様子。とりあえず良かった。

### A科 Y・Wさん

○男子が多く、ちよつと怖いと思っていた。専門知識を持って、得意な事を伸ばして欲しい。アットホームな学校という印象です。

●部活の話や聞くこと、やさしく楽しい先輩に囲まれて、和気あいあいとして、楽しそうです。心を写す外観、身だしなみも頑張っています。



### D科 K・Hさん

○息子が関工を選択したのは、中二の職場体験「電気工事」がきっかけでした。興味が関心へとつながり、目標の関工に入学出来た事は、本当に嬉しい事でした。

●本格的に授業が始まり、部活が始まり、日に日に責任感が高まっている様です。「中学校とは違うんだから…」が、1ヶ月位私の口癖でした。

### □科 T・Oさん

○男子生徒が大半なのでちょっと怖いイメージがあり、息子は先輩達に目をつけられなければいいなと心配していました。部活も盛んなイメージがありませんでした。

●クラスの雰囲気も良いようで新しい友達も出来、楽しそうに登校しています。部活も運動部に入り、厳しくも楽しいと話していました。

### M科 A・Mさん

○技術を身に付けられる事を期待しました。工業大に進学希望の為、選びました。

●部活（スポーツ）するには家が遠いとお大変である。進学を希望している子どももいることを分かって欲しい。

### M科 R・Yさん

○勉強は苦手ですが、大きな夢を持っていたので、将来必要となる資格を沢山取得し、仕事や趣味に役立てる為に関工を選びました。

●入学時は、学校やクラスに馴染めるか？とても不安でしたが、今では友達も沢山でき、人生初の男クラ生活を楽しんでいっているようです。

### M科 Y・Aさん

○説明会でのインパクトが強かったようで、自らここに入りたいと決めた息子です。進学にしろ就職にしろ普通高校にはない卒業後の中間が広いことが魅力です。

●花がいないんだよなあ、何のことかと思ったらクラスに女の子がいないということのようだ。こんな事を言うようになった息子に家族みんなで笑ってしまった。そんなに嘆かず専門の勉強にしっかり励み、将来に向けてがんばってほしい。

### M科 K・Tさん

○関工のイメージは、専門的な知識が学べる学校で就職時には他校より良いと思っていました。資格も卒業までに取得できるものがあると思えば、入学できるのであれば希望していました。

●来校時に感じたことですが、体育館への通路が雨風が降っているような天候時には掃除等大変ですよね。冬は校舎との通行も大変ですよね。

### M科 H・Sさん

○生徒の服装や態度が悪いとの評判を聞いていたので心配でした。確かに挨拶が出来た子が少なかつたと感じました。挨拶は基本ですから。

●部活動の面で中学校より練習にしても大会にしても厳しくない様に感じました。子供も緊張感がなく気がぬけている様でした。フアイト<sup>三</sup>

### M科 Y・Sさん

○入学前は、服装の乱れた生徒をよく見かけた事もあり、正直なところあまり良いイメージは持っていなかった。

●様々な資格試験に生徒達が積極的にチャレンジしている事や普段の学校の様子を聞き、抱いていたイメージは払拭された。

### C科 Kazuさん

○私も関工の卒業生です。息子が同じ道を進む事になりうれしく思っていました。様子を聞くと昔と変わらなくなつてく思っています。

●木造プレハブ校舎から現在の校舎が建てられた時の学生だったので、来校してみても時代の流れを感じました。関工魂でがんばって下さい。

### C科 S・Hさん

○生徒の挨拶がとも良く、社会人として育てられる学校だと思いました。

●毎日が楽しそうで、はりきって通学しています。入学できて良かったと思います。

### C科 H・Nさん

○以前文化祭に展示されていた橋の模型を見て土木に入りたと言っていた息子。親も就職先を考えたら土木がいいと思いついて関工に決めました。

●勉強についていけないのが一番心配。土木の専門用語がさっぱりわからないと…親も計算検定のプリントを見ただけで目まいしそう。

### C科 K・Aさん

○昔は評価が厳しかったので中々入れなかつた記憶がありました。物づくりが好きだし将来的にいいし、就職率が高いので選びました。

●中学より部活が大変きびしいなあと思います。もう少し早く帰って来る様にならないのですか。

### D科 N・Sさん

○専門的教育校なので将来自分自身にプラスになり、自分の生き方、進むべき道が拓ける高校だと思っていました。

●専門科目が難しいがもしろいと子供が話していたので、部活と両立して資格取得に励んでほしい。

### C科 M・Yさん

○あと何年続くか就職難。決して重いものではない資格を取れるものであれば取っておいた方が良くと思ひ、この学校を選びました。

●自分が何に向かつてこの学校に入学したのかを自覚し、その目標を達成するように頑張ってもらいたいです。

※沢山のアンケートにご協力いただき、本当に有り難うございました。本来であれば全員ものを掲載すべきところですが、幅広い特集と考えこのような形で編集させていただきました。大変申し訳ありません。

# 開校記念講演会

## 勝部市長が本校生徒にエール



2009年5月1日に迎えた創立50周年事業の一環で開校記念講演会が開催されました。テーマは「社会人基礎力」。社会人基礎力は、職場や地域社会でいきいきと活躍し、充実した社会生活を送れるよう、早い段階から、主体性をもって身につけることが大事であり、いうならば、「採用される力」と考えられます。

勝部市長はそのために、①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力が必要であると、これらは日々の積み重ねによって身につけることは可能であり、今後社会に力強く巣立ってほしい」とエールを送りました。生徒からは就職難なこの時代に、雇用についての質問等がだされ、真剣な講演会となりました。

**「必要とされる人材に」**  
勝部市長が一関工生へエール

「開校50周年の創立50周年事業の一環として、開校記念講演会を開催しました。テーマは「社会人基礎力」。社会人基礎力は、職場や地域社会でいきいきと活躍し、充実した社会生活を送れるよう、早い段階から、主体性をもって身につけることが大事であり、いうならば、「採用される力」と考えられます。

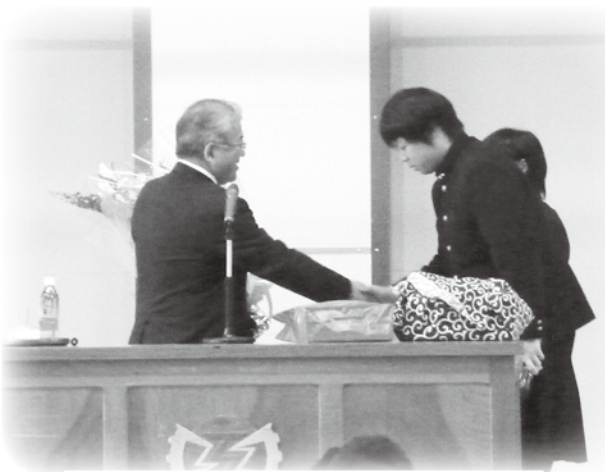
勝部市長はそのために、①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力が必要であると、これらは日々の積み重ねによって身につけることは可能であり、今後社会に力強く巣立ってほしい」とエールを送りました。生徒からは就職難なこの時代に、雇用についての質問等がだされ、真剣な講演会となりました。

市長講演会  
岩手日日掲載

今回の視聴講話は「社会人の基礎力」というテーマの元、自分達3年生にとっては就職活動をするにあたって便利なお話を聞くことができ、有意義な時間を過ごすことができましたが、いくつか話の内容が自分の考えとは異なるものがありました。

一つ目は「能力×意欲×考え方＝成果」についての話で、「能力」が1〜100という例えは解るのだが、「意欲」に関しては0からあると思う。例を出すとすれば、ニートと呼ばれる人がこの0に当てはまると思う。自分から職に就こうともせず親のスネをかじって、ただ漫然と生きている人達に社会的成果を成し遂げる意欲があるとは思えない。二つ目に「すぐやる」「かならずやる」「あきらめずやる」の中の「あきらめずやる」が一見良い事に思え、私も大事なことだとは思いますが、しかし人には向き不向きがあり、自分の苦手なことをいつまでもやり続けて時間を余計にくってしまうよりも、あきらめて自分の長所を生かせるものを探しなおすという引き際を知ることが大事なことだと思ふ。

自分とは合わない意見などがいくつかあったが、逆に考えれば自分には無い考え方や意見であり、物事の考え方や思想などの多様化につながる良い話を聞くことが出来て良かったです。





携帯電話の発展を説明する勝部市長



電子機械科3年 高橋 智紀 様

講話の感想を読ませていただきました。

ニートの人の「意欲」についてですが、私は、彼等が意欲ゼロとは思っていません。テレビや新聞では意欲のない若者の代名詞のように扱っていますが、少なくとも私が県庁に勤めていた時に渋谷カフェいわたのセンター長を兼務し、多くの若者と面談をしました。その中にニートの分類に入ると思われる人もたくさんいました。彼等は意欲がないのではなく、自信を失っているケースが多いのです。何度かの就職試験に失敗し、就職という壁の前で身動きができなくなっているのです。それをマスコミはある一面のみを強調して報道するために、意欲がなく親に完全依存して暮らす若者……というようにしてしまいます。


中には全く働く意欲を失ってしまった若者もいるでしょうが、最初から意欲のない人はいいのです。何かきっかけで自信をなくしているのです。

今そのような若者を対象に 体を動かすことから始めて少しずつ「働く」ということへ向って歩み出すよう支援策が始まっております。(私自身の考え方を書かせてもらいました。)

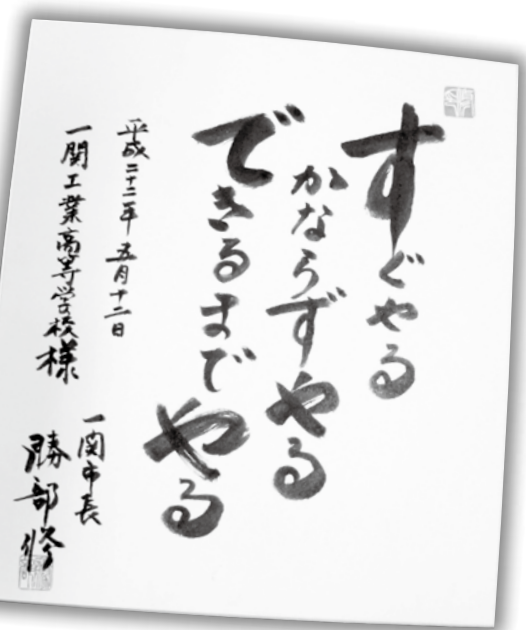
それから、すぐやる、かならずやる……の次は「できるまでやる」で、これは「安易にあきらめてはいけない」という意味で、高橋さんの言うように、不向きなものであればいつまでも続けられない、という意味ではありません。自分の興味、強みを早く知ってその分野に全力投球できることが一番ですネ。

頑張ってください。

5月28日

一関市長 勝部 弘三 

岩手県一関市



勝部市長直筆の色紙 各クラスに掲示されています。